



～令和元年度 下半期 研修報告～

北海道社会福祉士会十勝地区支部では、下半期も様々な研修がありましたのでご紹介します！

11/30 道東のつとめ「お寺ヨガ&法話」 ～対人援助職自身のセルフケア・癒しを考える～

講師の角島あさみさんから、ヨガを通して体のリフレッシュの仕方、マインドフルネスの一端を体感し学び、心と体がほぐれました。

永祥寺 織田住職からは「禅」について、人間としての心の持ちようなどをお話いただき、後半は参加者でグループワークを行い、日々の業務での悩みなどを共有しました。

対人援助職として、自身のストレスと向き合い、緩和することで、前向きに仕事に取り組めることを、改めて学びました。



12/7 社会福祉セミナー「子どもに関わる大人の学び」

～暮らしにくさを感じている子どもへの地域での関わり方について考える～

足寄町子どもセンターどんぐりセンター長の佐々木浩治さん、支援担当主任の細谷優子さんから、足寄町の発達支援の考え方、学校との連携、地域における専門職として大切にしていることを学びました。その後は、NPO 法人かしわのもりここから実験室、帯広児童相談所から活動報告があり現状の理解につながりました。学校や教育関係者の参加もあり、予定以上の人が集まりました。



2/8 道東ソーシャルワーク研究会 (PNCラボ) 研修会「2020共生社会」 ～障がい者スポーツの魅力と可能性・PNCのサポートが必要な理由～



道東地区障がい者スポーツ指導者協議会の高瀬勝洋さんから障がい者スポーツと、パラリンピックの意義について説明を受けました。当事者の方からは「協力者がいてスポーツができます」とお話あり、社会福祉士としてどう協力していくか考えるきっかけになりました。

障がい者スポーツ4種目も体験！精神保健福祉士会・医療ソーシャルワーカー会・社会福祉士会の交流が深まりました。

